売上把握の工夫例

売上把握の工夫例

- 費用をかけることなく工夫することで、個店を特定することなく、商店街内の各店舗の売上を集計することができます。活用可能な工夫をまとめました。

工夫例	投票箱	調整さん	Googleフォーム	共有サーバー
概要	・投票箱を設置し、売上記載した無記名投票を実施。	・ネット上の無料日程調整サイトを活用。	・ネット上の無料投票フォームを活用。	・ネット上の無料共有サーバーを活用。
メリット	・投票数によって店舗数の把握が可能	・会員登録が不要 ・スマホ、ガラケー、パソコンが対応 ・回答をエクセル（csvファイル）で出力でき、手作業での集計不要	・投票数によって店舗数の把握が可能 ・投票結果はスプレッドシート（エクセル）で自動集計	・入力された売上の個数により、報告した店舗数の把握が可能 ・集計作業はエクセルで可能。
デメリット	・投票が手作業 ・集計が手作業	・匿名性があるとはいえ、各店舗が他店舗の売上を閲覧することが可能	・誰が投票したのか、誰が未投票なのかわからない ・Googleアカウントが必要	・匿名性があるとはいえ、各店舗が他店舗の売上を閲覧することが可能 ・誰が入力したのか、誰が未入力なのかわからない

※上記に限定されることなく、工夫次第でさまざまなツールの活用が考えられます。

工夫例① 無記名投票

- 投票箱を設置し、各店舗から売上のみを記載した紙を投票していただき、その数値を合計することで、商店街の売上高を把握する。投票した際に店舗リストにチェックしていただくことで、回答店舗数の把握が可能。

✓ メリット

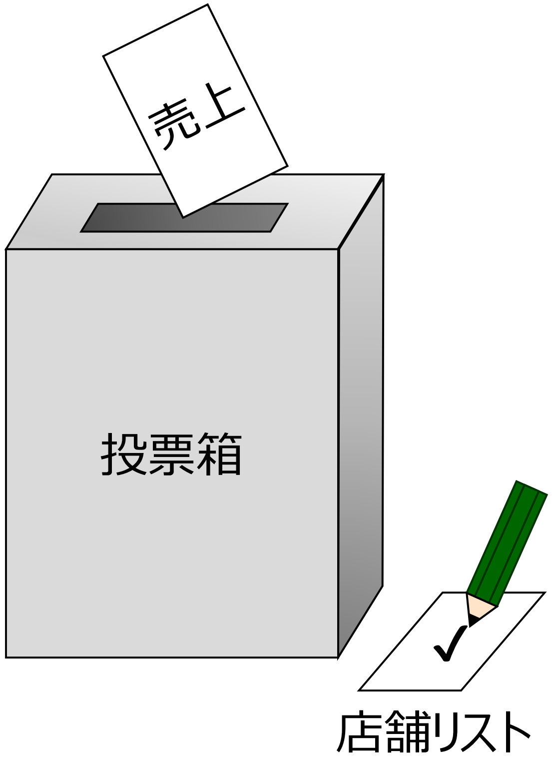
・個店名を特定する必要が無い
・投票数によって店舗数の把握が可能

✓ デメリット

・投票が手作業
・集計が手作業

✓ 使い方

・投票箱を作成
・各店舗に紙を配布し、投票を依頼
・投票と同時に、店舗リストの投票済欄にチェックを記入
・集まった票を集計し、商店街の売上を把握



工夫例② 「調整さん」の活用

- 調整さんを活用し、各店舗からコメント欄に売上を入力いただくことで、スマホ等で売上の把握が可能。回答した際に、別途回答した旨をメールいただくことで、回答店舗数の把握が可能。

✓ メリット

・個店名を特定する必要が無い
・会員登録が不要
・スマホ、ガラケー、パソコンが対応
・回答日時が残らないので、匿名性が高い
・回答をエクセル（csvファイル）で出力でき、手作業での集計不要（※会員登録しない場合、キャッシュが切れると出力不可）

✓ デメリット

・匿名性があるとはいえ、各店舗が他店舗の売上を閲覧することが可能

✓ 使い方

・日程調整を作成
・URLを各店舗にメールし、回答を依頼
・名前、日にち候補は回答せず、コメント欄に売上を入力
・集まった回答を集計し、商店街の売上を把握

工夫例③ 「Googleフォーム」の活用

- Googleがネット上で提供するGoogleフォームを活用し、売上高を把握。設定によって無記名と記名が選択可能で、店舗の希望に沿った対応が可能。作成したGoogleフォームのアドレスを各店舗に配布し、そのアドレスにアクセスして売上を入力。スマホからの操作が可能。

✓ メリット

・個店名を特定する必要が無い
・投票数によって店舗数の把握が可能
・投票結果はスプレッドシート（エクセル）で自動集計

✓ デメリット

・誰が投票したのか、誰が未投票なのかわからない
・Googleアカウントが必要

✓ 使い方

・Googleアカウントを取得
・Googleフォームで売上入力フォームを作成
・各店舗にフォームのURLを配布
・各店舗にて入力
・入力された売上高を集計

工夫例③ 「One Drive」を活用したエクセル共有

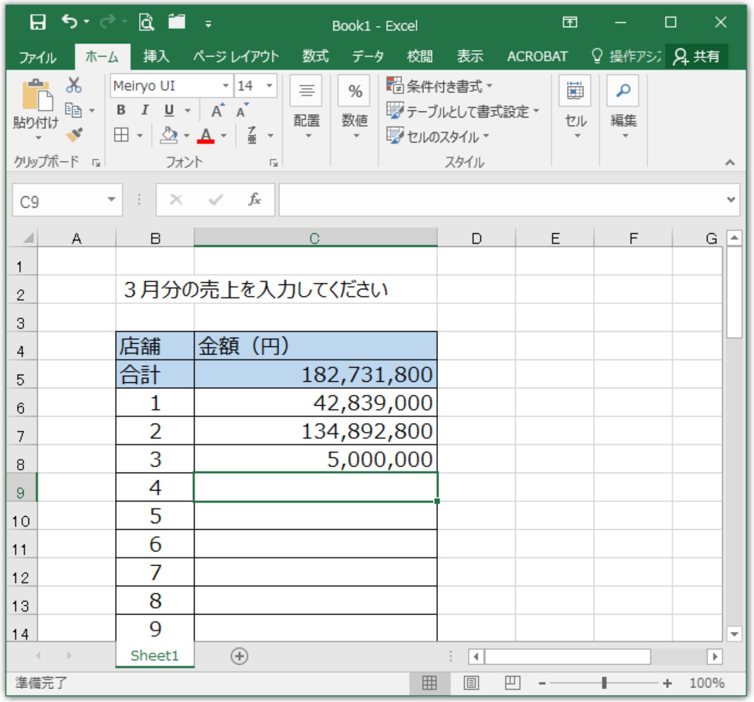
- 無料クラウドサーバーのOne Driveにエクセルファイルを設置し、そこに各店舗から入力していただくことで売上を把握。１つアカウントを作成し、それを共有して作業することで、実際に入力した者の匿名性を確保。
  ※One drive以外の共有サーバーでも可能です。

✓ メリット

・個店名を特定する必要がない
・入力された売上の個数により、報告した店舗数の把握が可能
・集計作業はエクセルで可能。

✓ デメリット

・匿名性があるとはいえ、各店舗が他店舗の売上を閲覧することが可能
・誰が入力したのか、誰が未入力なのかわからない



✓ 使い方

・hot mailアカウントを取得
・One driveのフォルダ内に入力用のエクセルを設置
・各店舗にエクセルのURLを配布
・各店舗にて入力
・入力された売上を集計